



2015年3月期 決算説明会

2015年5月15日

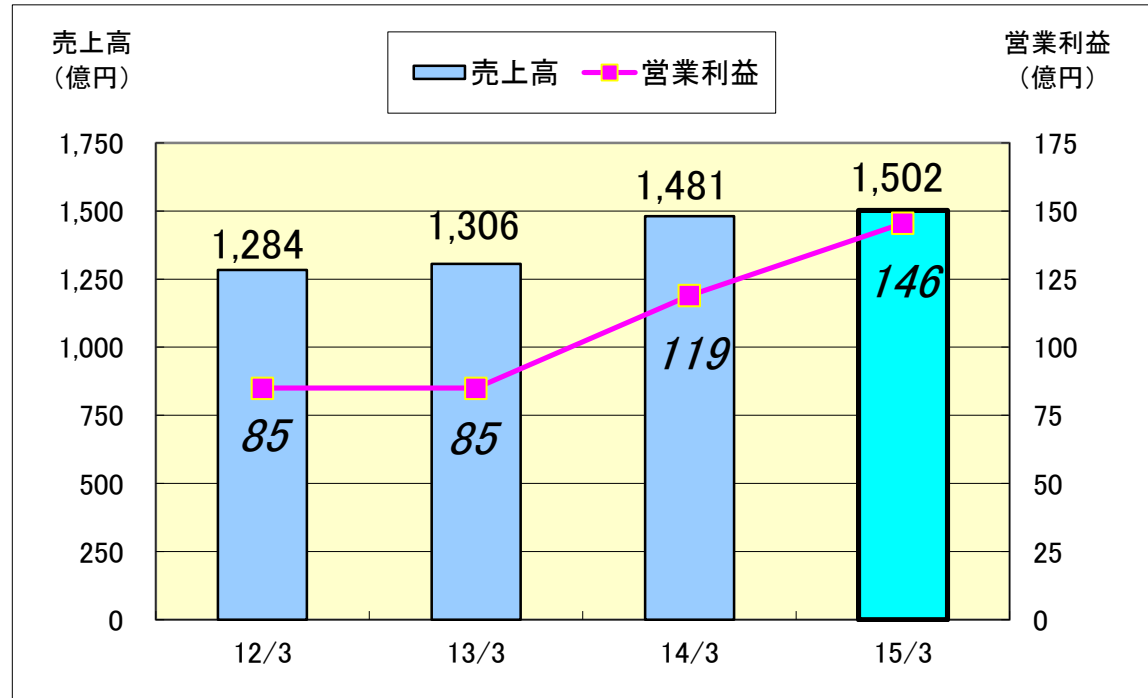
	(頁)
I. 2015年3月期業績	
・業績概要	(3)～(4)
・業績比較	(5)
・セグメント別売上高・営業利益実績	(6)～(9)
・主要指標比較	(10)
・特別損益内訳	(11)
・貸借対照表	(12)
・キャッシュ・フロー	(13)
II. 2016年3月期業績予想	
・業績予想概要(中期計画ローリングプランとの比較を含む)	(15)～(17)
・セグメント別予想売上高・営業利益	(18)～(21)
・予想主要指標比較	(22)
・予想キャッシュ・フロー	(23)
III. トピックス(2014年4月～2015年5月)	(25)～(26)
IV. 連結子会社の概要	(28)～(29)

I . 2015年3月期業績

2015年3月期業績 概要 (1)

株式会社クレハ

- 売上高 1501.8億円 (前期比)
(+20.6 億円、+1.4 %)
- 営業利益 145.5億円
(+26.5 億円、+22.3 %)
- 経常利益 154.3億円
(+32.2 億円、+26.4 %)
- 純利益 92.0億円
(+ 18.3 億円、+24.9 %)



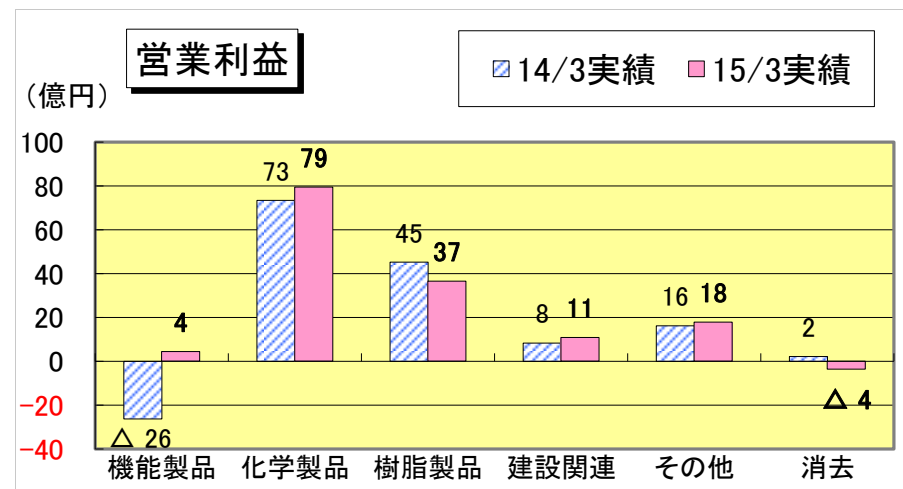
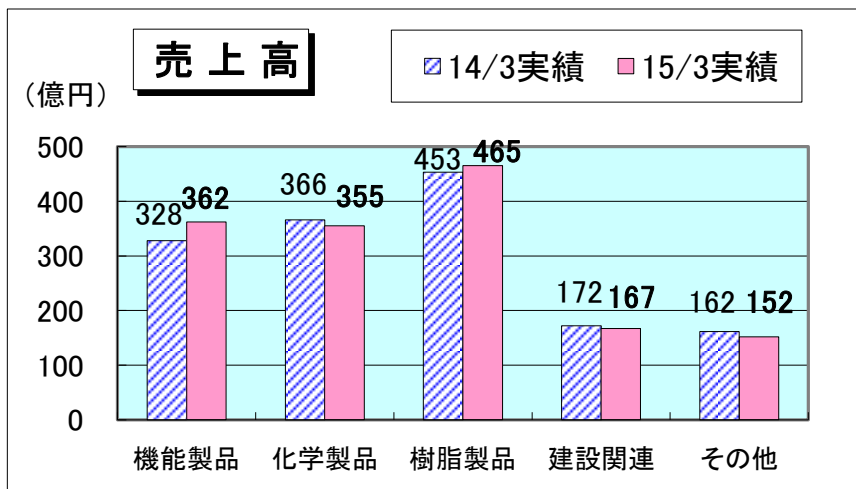
農薬の低迷、医薬品での後発医薬品拡大の影響があったものの、自動車向け材料、LiB向け材料、包装機械が好調だったことに加え医薬品部門の一時金収入があり、前期比増収・増益となった。
(連結での営業利益・経常利益・純利益は最高益を更新)

KUREHA

2015年3月期業績 概要 (2)

セグメント別実績 (前期比)

- 【機能製品】 機能樹脂の自動車用途向けPPS、電池用バインダーのPVDF、シェールガス・オイル掘削用のPGAの売上が拡大するとともに、炭素繊維の需要も一部回復し、増収・増益。
- 【化学製品】 農薬の北米需要減少、医薬品の後発薬拡大等による売上減少はあったものの、医薬品の一時金収入があり、あわせて減収・増益。
- 【樹脂製品】 業務用包材は海外向け包装機械が拡大したものの、家庭用品は前期の増税前駆け込み需要の反動から売上が減少し、あわせて増収・減益。
- 【建設】 プラント建設工事が減少したものの、震災復興関連工事などの公共工事が増加し、あわせて減収・増益。
- 【その他】 輸送業務が減少するも、産業廃棄物処理の増加により、あわせて減収・増益。



業績比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	14年3月期実績			15年3月期実績						
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減			
							連	結	単	独
売上高	1,481	824	1.8	1,502	864	1.7	21	1.4%	39	4.8%
営業利益	119	87	1.4	146	101	1.4	27	22.3%	14	16.5%
経常利益	122	94	1.3	154	117	1.3	32	26.4%	23	25.1%
当期純利益	74	57	1.3	92	70	1.3	18	24.9%	13	23.3%
総資産	2,245	1,760	1.3	2,497	1,930	1.3	252	11.2%	170	9.7%
純資産	1,062	931	1.1	1,206	1,016	1.2	144	13.6%	85	9.1%
1株当たり 当期純利益	円 42.87	円 33.21	1.3	円 53.53	円 40.95	1.3	円 10.66	24.9%	円 7.74	23.3%
1株当たり 純資産	円 604.0	円 541.82	1.1	円 687.8	円 591.01	1.2	円 83.80	13.9%	円 49.19	9.1%
自己資本比率	% 46.2	% 52.9	0.9	% 47.3	% 52.6	0.9	% 1.1	-	% -0.3	-
配当金	年間 11円 (中間5円、期末6円)			年間 12円 (中間5.5、 期末普通5.5、記念1.0)			期末に記念配当1円			
配当性向 (連結)	% 25.7			% 22.4						

KUREHA

セグメント別実績 【機能製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		14年3月期 実績	15年3月期実績			
			金額	増減		
連結売上高	クレハ	52	60	8	16%	
	炭素製品	171	202	31	18%	
	機能樹脂	1	5	4	489%	
	その他					
	計	224	268	44	20%	
	連結	炭素製品(中国)	9	19	10	110%
	子	電池材料	56	61	5	8%
	会社	その他	224	241	18	8%
		計	289	321	32	11%
		連結売上消去	-184	-227	-42	-
	合計	328	362	34	10%	
連結営業利益		-26	4	31	-	

〔炭素製品〕 炭素繊維は太陽電池用熱処理炉向け断熱材の需要の一部回復で売上が増加し営業損失が減少するも、炭素材料は負極材等のコスト増があり、営業損失横ばい。

〔機能樹脂〕 PPSは自動車向け、PVDFはLiB用バインダーと工業用途向け、PGAはシェールガス・オイル掘削用途向けにそれぞれ需要が拡大し、営業損失から営業利益へ転換。

KUREHA

セグメント別実績【化学製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		14年3月期 実績	15年3月期実績		
			金額	増減	
連結売上高	ク 工業薬品	98	106	8	8%
	レ 農薬	118	98	-20	-17%
	ハ 医薬品	95	99	4	4%
	計	311	303	-8	-3%
	連結子会社	88	88	0	0%
	連結売上消去	-32	-35	-3	-
	合計	366	355	-11	-3%
連結営業利益		73	79	6	8%

〔工業薬品〕 無機薬品、有機薬品の売上が増加し、増益。

〔農薬〕 農業・園芸用殺菌剤「メコナゾール」の北米市場の需要が減少し、減益。

〔医薬品〕 慢性腎不全薬「クレメジン」等の薬価改定、後発医薬品の伸長の影響があったものの、医薬品の一時金収入があり、増益。

KUREHA

セグメント別実績【樹脂製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

			14年3月期 実績	15年3月期実績		
				金額	増減	
連結売上高	ク	業務用包装資材	99	118	20	20%
	レ	家庭用品	191	175	-16	-8%
	ハ	計	290	293	4	1%
	連結	業務用包材(海外)	127	124	-4	-3%
	子	その他	130	148	18	14%
	会社	計	257	272	15	6%
		連結売上消去	-93	-100	-6	-
	合計	453	465	12	3%	
連結営業利益			45	37	-9	-19%

〔業務用包装資材〕 熱収縮多層フィルムの売上は減少するも、包装機械の売上が増加し、増益。

〔家庭用品〕 「NEWクレラップ」は増税前の駆け込み需要の反動等があり、減益。

KUREHA

セグメント別実績 【建設関連・その他関連】

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位:億円)

		14年3月期 実績	15年3月期実績		
			金額	増減	
連結売上高	建設関連事業	250	257	6	2%
	連結売上消去	-78	-89	-11	-
	合計	172	167	-5	-3%
連結営業利益		8	11	2	30%

【その他関連】

連結売上高	環境事業	107	104	-3	-3%
	運輸・倉庫事業	102	98	-4	-4%
	商社事業	21	23	2	8%
	その他	20	20	0	2%
	計	250	244	-5	-2%
	連結売上消去	-88	-92	-4	-
合計		162	152	-9	-6%
連結営業利益		16	18	2	10%

【建設関連】 プラント建設工事は減少したものの、震災復興関連工事等の公共工事が増加し、増益。

【その他】 輸送業務や環境エンジニアリングは減少したものの、産業廃棄物処理業務の増加により、増益。

KUREHA

主要指標比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	14年3月期実績			15年3月期実績						
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減			
							連	結	単	独
設備投資額	165	124	1.3	176	138	1.3	11	7%	14	12%
減価償却実施額	91	59	1.5	83	47	1.8	-8	-9%	-12	-20%
研究開発費	45	41	1.1	50	44	1.1	4	10%	3	8%
有利子負債残高	772	554	1.4	866	631	1.4	94	12%	77	14%
金融収支	-1	13	-	-0	13	-	0	-	-0	-1%
為替レートの	100.29円/\$、134.44円/€			109.90円/\$、138.84円/€						
従業員数(人)	4,080	1,715	2.4	4,123	1,769	2.3	43	1%	54	3%

KUREHA

特別損益内訳

株式会社クレハ

(単位:億円)

		14年3月期実績		15年3月期実績		増減	
		金額		金額			
		連結	単独	連結	単独	連結	単独
特別利益	受取賠償金	0.8	—	3.1	2.7	2.4	2.7
	投資有価証券売却益	1.9	1.9	0.7	0.7	-1.2	-1.2
	固定資産売却益	0.2	—	0.4	—	0.2	—
	補助金収入	4.8	0.4	—	—	-4.8	-0.4
	その他	0.2	0.4	0.1	0.2	-0.1	-0.2
	計	7.9	2.8	4.3	3.6	-3.6	0.8
特別損失	固定資産除売却損	11.8	11.9	10.6	10.2	-1.2	-1.7
	子会社整理損	—	—	7.5	9.0	7.5	9.0
	出資金評価損	—	—	4.0	4.0	4.0	4.0
	固定資産圧縮損	4.2	—	—	—	-4.2	—
	関係会社債権放棄損	3.0	3.9	—	—	-3.0	-3.9
	減損損失	1.3	1.3	—	—	-1.3	-1.3
	災害による損失	1.2	1.2	—	—	-1.2	-1.2
	その他	2.1	1.8	0.5	0.1	-1.6	-1.6
	計	23.6	20.0	22.6	23.3	-1.0	3.3

KUREHA

貸借対照表

株式会社クレハ

1. 資産の部

(単位:億円)

	14年3月末実績		15年3月末実績		増 減		(参考)14年9月末	
	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独
現金・預金	87	30	78	24	-10	-6	73	24
売掛債権	304	165	290	165	-15	0	310	192
たな卸資産	281	210	328	245	47	35	294	203
その他流動資産	62	91	64	85	3	-6	75	93
(小計)	734	496	759	519	25	23	751	512
有形固定資産	1,117	642	1,232	726	115	84	1,174	682
無形固定資産	20	10	24	15	4	5	19	10
投資等	373	612	481	671	108	58	413	640
(小計)	1,510	1,264	1,737	1,411	227	147	1,606	1,333
資産 合計	2,245	1,760	2,497	1,930	252	170	2,357	1,845

2. 負債・純資産の部

	14年3月末実績		15年3月末実績		増 減		14年9月末	
	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独	連 結	単 独
買入債務	165	61	138	59	-27	-2	158	75
有利子負債	772	554	866	631	93	77	845	608
引当金	33	23	35	25	2	2	37	23
その他負債	212	191	252	200	40	9	216	167
(小計)	1,182	829	1,291	915	108	86	1,257	874
資本金	125	125	125	125	0	0	125	125
資本剰余金	100	102	100	102	0	0	100	102
利益剰余金	783	694	842	743	59	49	803	724
自己株式	-45	-45	-45	-45	-0	-0	-45	-45
包括利益累計額	75	55	160	90	85	35	93	64
新株予約権	1	1	1	1	0	0	1	1
少数株主持分	24	-	24	-	0	-	23	0
(小計)	1,062	931	1,206	1,016	144	85	1,100	971
負債・純資産 合計	2,244	1,760	2,497	1,930	253	170	2,357	1,845

KUREHA

(単位:億円)

		14年3月末実績		15年3月末実績	
		連 結	単 独	連 結	単 独
営業キャッシュ・フロー	償却前利益	199	136	219	144
	資産及び負債の増減額	-38	-27	-63	-39
	法人税等の支払額	-30	-17	-41	-29
	その他	8	14	11	14
		141	106	125	91
投資キャッシュ・フロー		-204	-168	-188	-153
財務キャッシュ・フロー		47	43	50	56
現金及び現金同等物に係る換算差額		4	0	4	0
現金及び現金同等物の増減額		-13	-19	-8	-6
現金及び現金同等物の期首残高		100	49	87	30
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		-	-	-2	-
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		1	-	-	-
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	-	0	-
現金及び現金同等物の期末残高		87	30	78	24

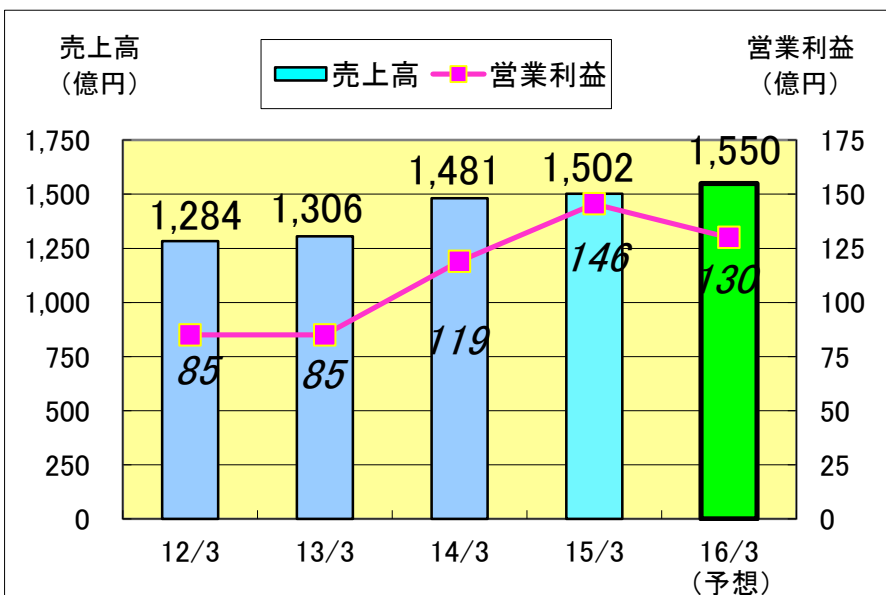
Ⅱ. 2016年3月期業績予想

2016年3月期業績予想 概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	15年3月期実績			16年3月期予想 (カッコ内は第2四半期予想)						
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減			
							連	結	単	独
売上高	1,502	864	1.7	(720) 1,550	(420) 900	1.7	48	3.2%	36	4.2%
営業利益	146	101	1.4	(50) 130	(30) 78	1.7	-16	-10.7%	-23	-23.1%
経常利益	154	117	1.3	(48) 125	(38) 85	1.5	-29	-19.0%	-32	-27.4%
当期純利益	92	70	1.3	(28) 80	(25) 55	1.5	-12	-13.0%	-15	-21.8%
配当金	年間12円 (中間5.5、期末5.5、期末記念1.0)			年間11円 (中間5.5円、期末5.5円)						
配当性向(連結)	22.4%			23.6%						



□ 営業利益の主な増減要因

〔増益要因〕

- ・機能樹脂、家庭用品での売上増による限界利益の増加
- ・改革推進PJによるコスト減

〔減益要因〕

- ・医薬品一時金収入なし。
- ・PVDC、PVDF中国新プラント等による減価償却費の増加

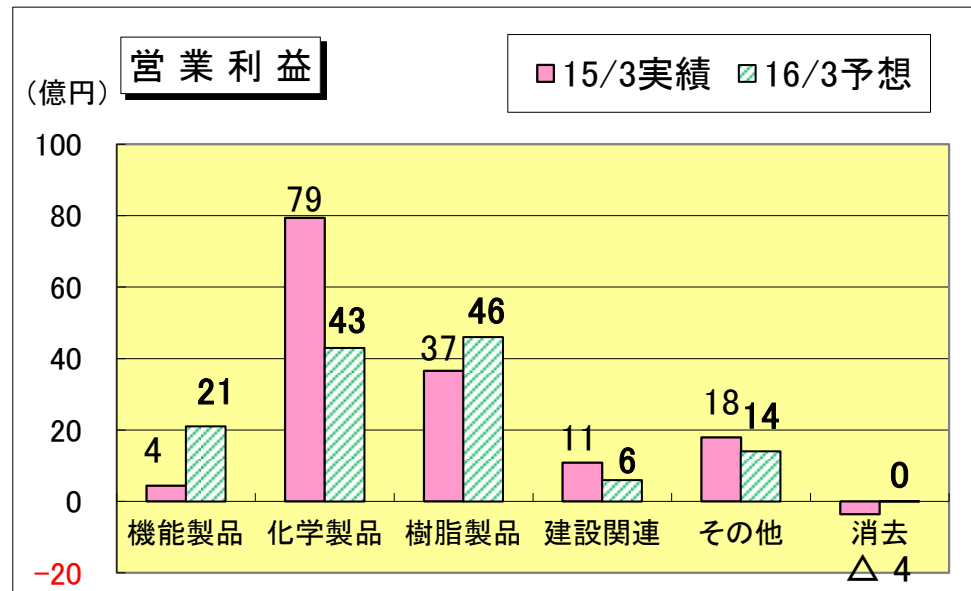
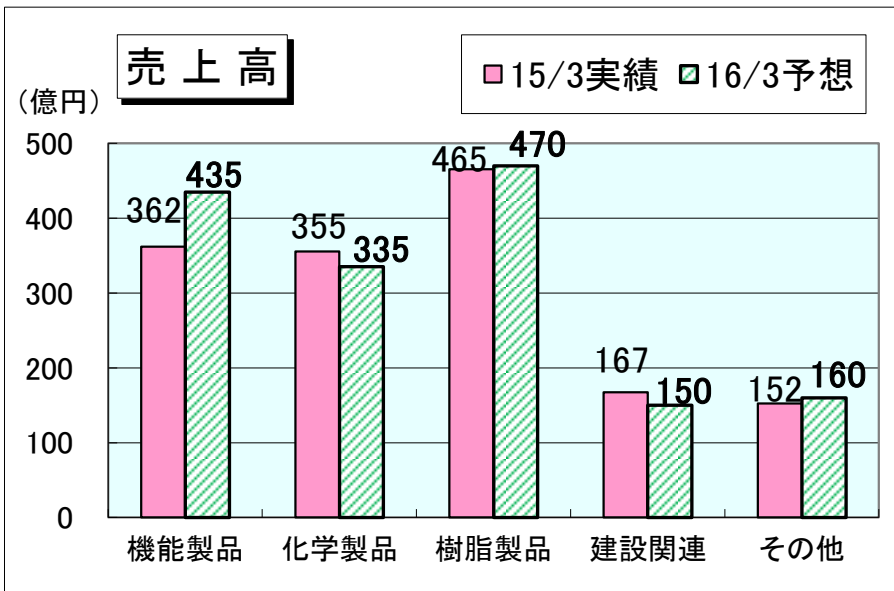
□ 営業外損益は、為替差損益を見込まず

□ 特別損失は、固定資産除却損等で17億円を見込む

KUREHA

2016年3月期業績予想 概要 (2)

株式会社クレハ



【営業利益の主な変動ポイント】

- 〔機能製品〕 PGAは事業スキーム変更による売上拡大で黒字転換。
PVDFは売上伸長も費用増で利益減少。
- 〔化学製品〕 医薬品の一時金がなくなり、後発品の影響続く。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の増税前の駆け込み需要反動がなくなることと、商品価値訴求の継続により、増益。

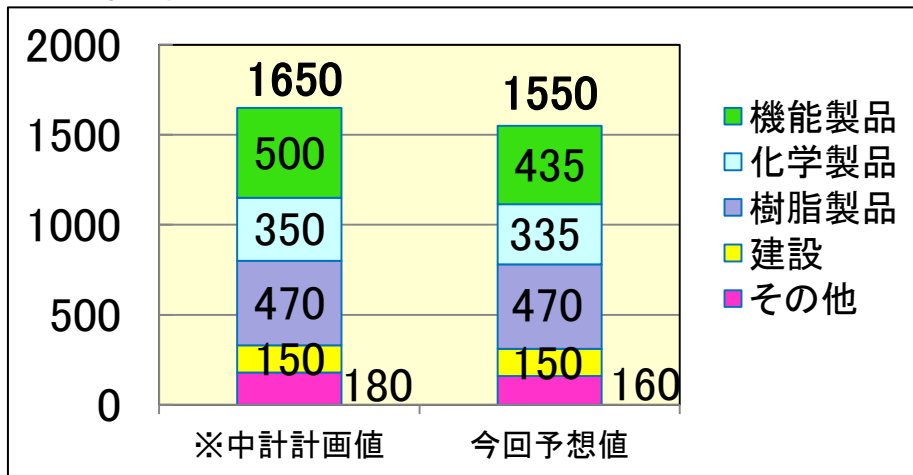
KUREHA

2016年3月期業績予想

今回の予想値と中計GG-II計画値との比較

株式会社クレハ

売上高(億円)



【主な差異要因】

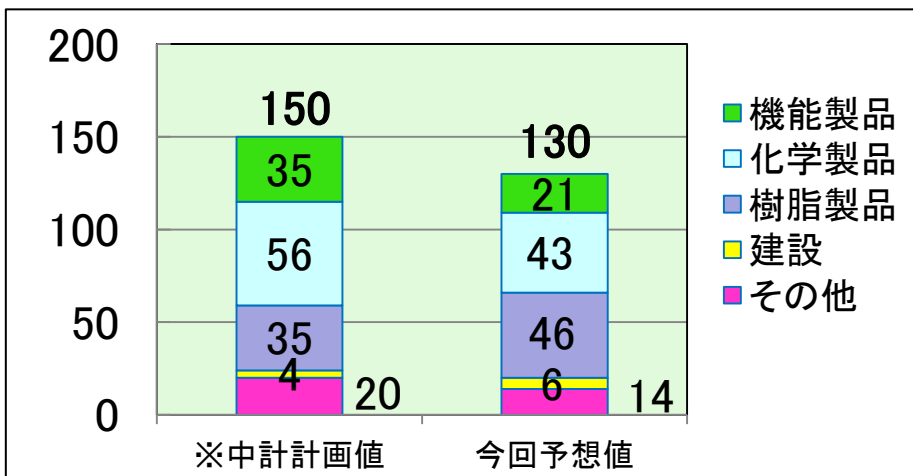
売上高で計画比▲100億円

機能製品 (▲太陽電池関連、▲LiB関連、
一方、PGAは計画比大きくプラス)

化学製品 (▲後発医薬品の影響)

その他 (▲産業廃棄物関連での未達)

営業利益(億円)



営業利益で計画比▲20億円

上記の機能製品、化学製品、その他の売上減少による利益減少を、PGAの拡大、家庭用品の採算改善および改革推進プロジェクト推進によるコスト削減効果(損益改善額28億円)で補うも、計画に未達。

(※2013年11月14日に発表した中計GG-IIローリングプラン計画値)

KUREHA

セグメント別予想 【機能製品】

株式会社クレハ

(単位: 億円)

		15年3月期 実績	16年3月期予想			
			金額	増減		
連結売上高	ク	炭素製品	60	60	0	0%
	レ	機能樹脂	202	266	64	32%
	ハ	その他	5	4	-1	-25%
		計	268	330	62	23%
	連結	炭素製品(中国)	19	22	3	16%
	子	電池材料	61	78	17	28%
	会社	その他	241	290	49	20%
		計	321	390	69	21%
		連結売上消去	-227	-285	-58	-
		合計	362	435	73	20%
連結営業利益		4	21	17	378%	

〔炭素製品〕 太陽電池用熱処理炉向け断熱材は採算改善を継続、LiB用負極材の売上は横ばいを見込む。

〔機能樹脂〕 PGAはシェールガスオイル掘削向けの市場開拓を進めるとともに、米国の提携先との事業スキームの変更により、売上が大幅に伸長する。PPSは自動車向けを中心に堅調に推移する。PVDFはLiB用バインダー・工業用途向けともに伸長するも、償却費等の負担が増える。

以上により、前期比増収・増益

KUREHA

セグメント別予想【化学製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		15年3月期 実績	16年3月期予想			
			金額	増減		
連結売上高	ク	工業薬品	106	98	-8	-8%
	レ	農薬	98	107	9	10%
	ハ	医薬品	99	75	-24	-24%
		計	303	280	-23	-8%
		連結子会社	88	90	2	3%
		連結売上消去	-35	-35	0	-
		合計	355	335	-20	-6%
連結営業利益		79	43	-36	-46%	

〔工業薬品〕 原燃料や市場の動向に的確に対応し、収益を確保する。

〔農薬〕 農業・園芸用殺菌剤「メコナゾール」は、動向を見極めつつ、数量拡大に注力する。

〔医薬品〕 一時金がないことに加え、慢性腎不全薬「クレメジン」の後発医薬品の伸長から、売上減を見込む。

以上により、前期比減収・減益

KUREHA

セグメント別予想 【樹脂製品】

株式会社クレハ

(単位:億円)

		15年3月期 実績	16年3月期予想			
			金額	増減		
連結売上高	ク	業務用包装資材	118	92	-26	-22%
	レ	家庭用品	175	198	23	13%
	ハ	計	293	290	-3	-1%
	連結	業務用包材(海外)	124	135	11	9%
	子	その他	148	150	2	1%
	会社	計	272	285	13	5%
		連結売上消去	-100	-105	-5	-
	合計	465	470	5	1%	
連結営業利益		37	46	9	26%	

〔業務用包装資材〕 包装機械の販売が減少するも、熱収縮多層フィルムの拡販をグローバルに進め収益を確保する。

〔家庭用品〕 「NEWクレラップ」は新PVDCプラントの償却費増はあるも、増税反動による販売減がなくなることに加え、商品価値訴求の継続により、増益を図る。

以上により、前期比増収・増益

KUREHA

セグメント別予想 【建設関連・その他関連】

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位:億円)

		15年3月期 実績	16年3月期予想		
			金額	増減	
連結売上高	建設関連事業	257	210	-47	-18%
	連結売上消去	-89	-60	29	-
	合計	167	150	-17	-10%
連結営業利益		11	6	-5	-45%

【その他関連】

連結売上高	連結	環境事業	104	114	10	10%
	子会社	運輸・倉庫事業	98	97	-1	-1%
	社	商社事業	23	18	-5	-20%
		その他	20	16	-4	-21%
		計	244	245	1	0%
		連結売上消去	-92	-85	7	-
		合計	152	160	8	5%
連結営業利益			18	14	-4	-22%

【建設関連】

震災復興関連工事の減少に加え、人件費および資材費の上昇があり減益を見込む。

【その他】

〔環境事業〕

低濃度PCB処理事業の拡大を見込むも、設備更新費用の増加もあり減益を見込む。

KUREHA

予想主要指標比較

株式会社クレハ

(単位：億円)

	15年3月期実績			16年3月期予想						
	連結	単独	倍率	連結	単独	倍率	対前年増減			
							連結	増減	単独	増減
設備投資額	176	138	1.3	175	130	1.3	-1	0%	-8	-6%
減価償却実施額	83	47	1.8	100	57	1.8	17	21%	10	21%
研究開発費	50	44	1.1	57	51	1.1	7	15%	7	15%
有利子負債残高	866	631	1.4	892	693	1.3	26	3%	62	10%
金融収支	0	13	-	-1	13	-	-1	-	0	-
為替レートの	109.90円/\$、138.84円/€			115円/\$、135円/€						
従業員数(人)	4,123	1,769	2.3	4,213	1,881	2.2	90	2%	112	6%

KUREHA

予想キャッシュ・フロー

株式会社クレハ

(単位:億円)

		15年3月末実績		16年3月末予想	
		連 結	単 独	連 結	単 独
営業キャッシュ・フロー	償却前利益	219	144	208	125
	資産及び負債の増減額	-63	-39	-45	-41
	法人税等の支払額	-41	-29	-28	-32
	その他	11	14	17	24
		125	91	152	75
投資キャッシュ・フロー		-188	-153	-164	-120
財務キャッシュ・フロー		50	56	5	42
現金及び現金同等物に係る換算差額		4	0	-	-
現金及び現金同等物の増減額		-8	-6	-7	-3
現金及び現金同等物の期首残高		87	30	78	24
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		-2	-	-	-
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		-	-	-	-
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		0	-	-	-
現金及び現金同等物の期末残高		78	24	71	21

KUREHA

Ⅲ. トピックス (2014年4月～2015年5月)

トピックス (2014年4月～2015年5月)

株式会社クレハ

1. 全 般

- 2014年 7月 雇用を通じて障がい者を支援する『株さんしゃいんクレハ』を運営開始。
- 10月 当初の予定通り、5.5円の間配当を実施することを発表。
- 2015年 3月 新研究開発施設「中央研究棟」の竣工式を開催。
- 4月 期末配当を当初予定の5.5円(普通配当)に記念配当の1円を加えた6.5円とすることを発表。
- 5月 2017年3月期決算よりIFRSを任意適用することを発表。

2. 機能製品

- 2014年 4月 日本エクストロン(株)が(株)クレファインを吸収合併し、『クレハエクストロン株式会社』に社名変更。
- 7月 (株)クレハ・バッテリー・マテリアル・ジャパンが中国に設立した「呉羽電池材料(上海)有限公司」の営業を開始。
- 7月 呉羽(常熟)フッ素材料有限公司でフッ化ビニリデン樹脂(PVDF)製造設備が竣工。

KUREHA

3. 樹脂製品

- 2014年
- 4月 「NEWクレラップ」11年連続のリニューアル実施。
 - 4月 インターネットコミュニティサイト「クレラップコミュニティ」を開設。
 - 6月 キチントさんシリーズから「チンするレシピ ふわふわオムライス」を発売。
 - 8月 「NEWクレラップ」の価格改定(11月1日出荷分より)を発表。
 - 8月 クレハロンインダストリーズ社(オランダ)で、熱収縮多層フィルムの製造設備を増強。
 - 11月 樹脂加工事業所(柏原)の新事務所棟が完成。
- 2015年
- 1月 塩化ビニリデン樹脂(PVDC)増強設備が竣工。
 - 5月 「NEWクレラップ」「パチック」リニューアル品の販売開始。

4. その他

- 2014年
- 12月 クレハ環境の産業廃棄物処理炉において、環境大臣より新たに1ラインの焼却炉で低濃度PCB廃棄物の無害化処理認定を取得。

IV. 連結子会社の概要

連結子会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位:億円)

		14年3月期		15年3月期		増 減	
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
株式会社クレハ		824	1,760	864	1,930	39	170
株式会社クレハトレーディング・グループ2社		288	134	286	132	-3	-2
機能製品	株式会社クレハ	224	-	268	-	44	-
	株式会社クレハトレーディング・グループ2社	98	-	98	-	0	-
	(株)クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン・グループ2社	56	51	61	42	5	-9
	クレハ エクステック株式会社	20	25	22	27	2	1
	クレハ エクストロン株式会社	14	16	22	21	8	5
	Kureha GmbH	17	11	14	11	-2	-0
	Kureha America Inc.グループ4社	74	289	76	298	3	9
	上海呉羽化学有限公司	9	32	19	38	10	6
	呉羽(中国)投資有限公司・グループ3社	1	105	9	151	1	46
	連結調整	-185	-	-227	-	-42	-
計		328	-	362	-	34	-
化学製品	株式会社クレハ	311	-	303	-	-8	-
	株式会社クレハトレーディング	88	-	88	-	0	-
	連結調整	-32	-	-35	-	-3	-
計		366	-	355	-	-11	-
樹脂製品	株式会社クレハ	290	-	293	-	4	-
	株式会社クレハトレーディング	82	-	77	-	-4	-
	クレハ合繊株式会社	37	31	37	34	-0	2
	Kureha America Inc.グループ4社	-	-	16	9	16	9
	欧州包材・グループ4社	94	57	86	66	-7	9
	クレハベトナム	33	46	37	50	4	5
	連結調整	-82	-	-82	-	0	-
計		453	-	465	-	12	-

連結子会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位:億円)

		14年3月期		15年3月期		増 減	
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
建設	クレハ錦建設株式会社・グループ4社	184	96	218	114	33	17
	株式会社クレハエンジニアリング	66	36	39	25	-27	-11
	連結調整	-78	-	-89	-	-11	-
計		172	-	167	-	-5	-
その他	株式会社クレハ環境	93	79	89	77	-4	-2
	株式会社クレハ分析センター	14	7	15	6	1	-0
	クレハ運輸株式会社・グループ7社	102	61	98	61	-4	0
	株式会社クレハトレーディング	21	-	23	-	2	-
	クレハサービス株式会社	5	10	5	10	0	1
	クレハスタッフサービス株式会社	15	6	15	6	-0	0
	連結調整	-88	-	-92	-	-4	-
計		162	-	152	-	-9	-
(連結子会社数)		(36)		(37)			
合 計(連 結)		1,481	2,245	1,502	2,497	21	252
持分法 適用会社	南通匯羽豊新材料有限公司	35	-	38	-	3	-

※ 2015年3月期連結子会社 37社(前期比1社増)、持分法適用関連会社 1社(前期と同じ)

→内訳:2014年7月、連結対象子会社「吳羽電池材料(上海)有限公司」を設立。

KUREHA

- ・ 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・ 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。